

鈴鹿医療科学大学同窓会会報

SUMS ALUMNI

vol. **24**
2023.10.01



2022年度卒業生ホームカミングパーティ開催報告

二〇二三年十一月十二日（土）、碧鈴祭期間中に三年ぶりの「ホームカミングパーティ」を開催しました。同窓会会報発行時点で、通常開催かどうかを検討中だったため会報でのご案内ができませんでしたが、当日は卒業生とご家族、大学教職員の皆さん合計五十名にご来場いただきました。パーティでは、毎年恒例のビンゴ大会、参加者全員参加イベントのワナゲ大会を設けました。



方からのコメントは別途ご紹介させていただきますが、皆様のお元気なお姿を拝見し、スタッフ一同心が和む一日となりました。
(同窓会事務局)

2023年度碧鈴祭 同窓会ブース開設のお知らせ

2023年度の大学祭は、初の白子キャンパスでの開催となります。初の会場ですが、11月11日（土）の10:30～15:00（時間変更可能性あり）に、同窓会ブースを開設させていただく予定です。

今回より、大学祭内イベントに参加を予定される皆様に気軽にお立ち寄りいただきやすいよう、ブース開設時間を変更いたしました。

同窓会ブースでは、本会報内にある引換券を持参された方に、記念品をお渡しさせていただくほか、卒業生皆様に「謎解きゲーム～同窓会からの挑戦状～」の冊子を配布し、クリアされた方全員にプレゼントをご用意させていただきます。

謎解きゲームは、2022年度に実施したところ、「思いのほか難しかった」「結構楽しめた！」など好評？感想！をいただきました。

なお今回より、会場と感染対策の関係上、軽食やワナゲ・ビンゴ大会はごさいませんので何卒ご了承願います。

大学祭にご参加の皆様は、引換券をご用意の上、お気軽に同窓会ブースにご来場ください。スタッフ一同、皆様の母校へのお帰りをお待ちしております。
(同窓会事務局)

卒業生便り

二〇二二年度碧鈴祭に参加されていた皆様に近況をお聞かせいただきました。メッセージを頂いた皆さん、ありがとうございました！

森安 龍一さん

●大学祭は久しぶりですか？大学に来た感想はいかがですか？
久しぶりで懐かしいです。

●学生時代のゼミまたはサークルなど、思い出のエピソードを教えてくださいませんか？
山下ゼミでした。よく土日も大学に来ていました。

●同級生にメッセージをお願いします。元気にしていますか？

鈴木 絵巳さん

●大学祭は久しぶりですか？大学に来た感想はいかがですか？
なつかしくて、大学生活を思い出します。

●学生時代のゼミまたはサークルなど、思い出のエピソードを教えてくださいませんか？
森反ゼミでした。

●同級生にメッセージをお願いします。コロナで大変ですが、頑張りましょう！

鈴木 マリアさん

●大学祭は久しぶりですか？大学に来た感想はいかがですか？
久しぶりに大学に来て楽しかったです。先生たちとも話すことができ良かったです。

●同級生にメッセージをお願いします。

●学生時代のゼミまたはサークルなど、思い出のエピソードを教えてくださいませんか？
武藤先生。みんなで勉強を頑張ったこと。

●同級生にメッセージをお願いします。コロナで大変ですが、頑張りましょう！

中舎 幸司さん

●大学祭は久しぶりですか？大学に来た感想はいかがですか？
ホームカミングパーティ楽しかったです。

●学生時代のゼミまたはサークルなど、思い出のエピソードを教えてくださいませんか？
授業楽しかったです。

●同級生にメッセージをお願いします。大学祭面白いので、ぜひみなさん参加してください。

同窓生交歓

同窓会名…

医療福祉学科医療福祉学専攻

松原新ゼミ1～16期生同窓会

開催日・会場・出席人数…

二〇二三年四月十五日（土）

カフェナフブラン（三十八人）

医療福祉学科において十八年間、ソーシャルワーカー教育に力を注がれた松原新教授が退官されました。ゼミ生は1期生～16期生で九十人となり、世代を越えて先生へ感謝の思いを伝えました。遠方で参加できなかったゼミ生からはメッセージをプレゼントしました。松原先生は常々私達に、「誠実に生きなさい」「素敵な人になりなさい」とご指導いただきました。さらに、ゼミ生同士の縦の繋がりを大切にされました。不器用な私達は社会に採まれ、辛いときもありますが、大学においての先生との時間や、ゼミの先輩・後輩の繋がりが心の支えとなって、今を乗り越えることができている。改めて、松原先生や松原ゼミの皆さんに出会えた大学生活は本当に幸せだったと実感しました。これからも松原先生からいただいた教えを胸に刻み、ゼミ生同士で支え合いながら生きていきたいと思えます。本当に長い間お疲れ様でした。

山下 千晶
(旧姓：富田)



支部報告

医療福祉学科

医療福祉学専攻同窓会

からのお知らせ

第二回卒後研修会を開催しました

■ 米本麻由佳（理事・7期卒業生）

二〇二三（令和五）年二月十八日（土）に白子キャンパスにて第三回卒後研修会を行いました。コロナ禍の影響もあり三年ぶりの開催でしたが、1期生～15期生までの卒業生が五十六名、在学生二名、計五十八名が参加しました。

第一部では、昨年度に退職された松原新教授より「たがいの弱さを愛おしむ真の強さ」をテーマに特別講演をしていただきました。松原教授の幼少期から現在までの話を聞き、支え合いながら生きていくことの大切さを教えていただきました。参加者からは「原点にかえる想いにさせてください」「人の弱さや孤独について考える機会となった」「自分の現状やこれからのことを苦しくても逃げずに悩んで前に進んでいきたいと前向きな気持ちになった」などの声がありました。第二部はグループに分かれて卒業生や在学生との交流会を行いました。仕事の内容から休日の過ごし方など幅

広い意見交換がなされていました。参加者からは「世代の違う卒業生と意見交換ができて面白かった」「同じ職種の方とお話できて楽しかった。仕事の相談や転職情報の交換ができてよかった」「先輩方とお話させていただく機会が自分では作れないので、とても貴重な時間になった」という声がありました。

今回の卒後研修会において、一人では生きていけないこと、たくさん繋がりを持つことは大切であることを再度教えていただきました。今回、この研修会でその繋がりが増えたかと思えます。人との関わりを大事にし、一日一日を過ごしていただけならと思います。

全体を通して、「またこのような機会があれば参加したい」という意見を多数いただきましたので、今後も定期的に開催ができればと思います。その際はぜひご参加ください。



第3回卒後研修会集合写真

二〇二三年度役員紹介

（※数字：卒業期1～16期生）
会長…縣希輔① 副会長…兵倉香織（旧姓：丹羽）② 事務局長…山下千晶（旧姓：富田）① 会計…福田佳奈③ 役員…伊藤達也①、市川真也

支部報告

鍼灸サイエンス学科

同窓会からのお知らせ

令和4年度卒業生キャリア講演

令和四年十二月十六日（金）に鍼灸サイエンス学科一～三年生の在校生を対象とし、卒業生キャリア講演を開催しました。今回は本学科10期生の宮本悠帆さんにご講演頂きました。

宮本さんは、本学科卒業後に愛知県鍼灸治療院に就職し、美容鍼灸等の知識や技術を身に付け、令和元年に地元三重県で女性専用の鍼灸サロンをオープンされています。

ご講演でのお話は、①本学科に入学しようと思ったきっかけ、②大学

②、澤孝行④、勝田貴之⑤、森本早起⑤、市川真希（旧姓：福吉）⑥、山際千晴⑦、米本麻由佳⑦、伊藤有希⑧、前納一輝⑧、沖本成未⑨、戸坂勇希⑩、松山祐奈⑫、長谷川美紀（旧姓：熊谷）⑬、米本安那⑭、鎌倉隆成⑮、鳥居春花⑯

生時代にどのような過ごし方だったのか、いま振り返ってみると何をしておけば良かったか、③開業に至るまでの経緯やこだわり、④鍼灸サロンのコンセプト・やりがいについて学生に熱く語って頂きました。鍼灸サロンの内観や患者様への配慮が伝わる動画や施術風景に加え、患者様のプロフィールアバター等の写真も紹介して頂き、学生達が興味津々で集中して受講している姿が見受けられました。

コロナ禍で積極的に行動しにくい現状ではありますが、学生達が前向きに取り組むきっかけを与えてくれた講演になったと感じています。



令和四年度活動報告

令和四年十一月二十七日(日)、第九回薬学部同窓会がZoomを用いてオンラインにて開催しました。第一部の総会では、令和三年度の事業報告や会計報告に加え、3期生幹事として久保田実仙、9期生幹事として海老岡志穂、河口京加、後藤郁弥、前田菜々子、山田拓磨の計六名が新たに選任されました。また会計には幹事である中川直也が着任致しました。第二部の第14回



講演1 鈴木先生

生涯研修セミナーでは、犬飼達也先生(1期生)より、真菌症に対する新規治療法の開発に向けた基礎的な研究内容についてご講演頂きました。また、鈴木啓太先生

生(4期生)より病棟業務や透析室担当薬剤師として携わった症例や学会発表内容についてご講演いただきました。第三部の交流会では小グループでの意見交換を行いました。次年度は薬学部同窓会の設立から十年目の節目を迎えるということで、年次同窓会はオンラインではなく、現地開催での活発な会となることを祈念致します。



講演2 犬飼先生

第九回薬学部同窓会
参加者の声

鍋谷 和 (1期生)

私は二〇一四年薬学部卒第1期生の鍋谷和です。昨年の同窓会には同

第10回 薬学部同窓会開催のお知らせ

日時

令和5年11月26日(日)
14時00分～17時00分

内容

総会、生涯研修セミナー、交流会

会場

鈴鹿医療科学大学白子キャンパス内(1号館7階、食堂)

参加費 3,000円

申込方法

登録フォーム(QRコード)より申込。もしくは、各学年幹事へ申込連絡して下さい。
<https://forms.gle/uuRCofJ6UofA2a2J9>

問い合わせ先

鈴鹿医療科学大学薬学部同窓会
運営委員会
Email: sums.pharmacy.obog@gmail.com



第10回薬学部同窓会登録フォーム

【薬学部同窓会役員】

- 1期生幹事：雨皿千鶴代、河井亜希、鍋谷和
- 2期生幹事：浮氣良太、内田亮太、星野美帆(旧姓：近藤)、堀内成未(旧姓：島)、土方峻
- 3期生幹事：近藤健太、瀧下裕、河井栄作(旧姓：赤塚)、久保田実仙(旧姓：中嶋)
- 4期生幹事：各務有里、白上茜、鈴木啓太、沖活也、宮崎翔平
- 5期生幹事：太田有亮、村田実里(旧姓：櫻谷)
- 6期生幹事：那須隆斗
- 7期生幹事：田畑実来、中川有惟、中川直也、伴勇介、前川幸恵
- 8期生幹事：伊藤翼、小笠原暁海、安東遥、仙石歩夢
- 9期生幹事：海老岡志穂、河口京加、後藤郁弥、前田菜々子、山田拓磨
- 理事：雨皿千鶴代、鍋谷和、土方峻、櫻谷実里
- 会計：宮崎翔平、那須隆斗、中川直也
- 副会長：大出真衣(旧姓：竜瀬)、五藤健児
- 会長：藤戸淳夫



交流会

窓会役員として参加し、卒業生の講演および近況報告にて様々な職種の卒業生と交流することにより、自身の知見を広げることができました。現在私は主に医薬品の開発支援を行う、シミック株式会社に勤めており、臨床開発モニター（CRA）として新薬の開発に携わっております。日々忙しい毎日をごしておりますが、担当していた薬剤が承認され、薬剤師の友人等から患者さんへの治療に役立てられている生の声を聞いたとき、大きな達成感・やりがいを感じています。病院・薬局薬剤師とは異なる職業ではありますが、患者さんへ一日も早く良い薬が届けられるよう、より一層邁進してまいります。

支部報告

医療栄養学科同窓会

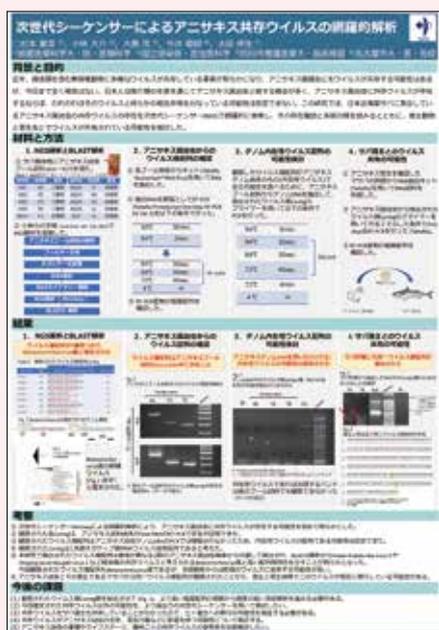
からのお知らせ

医療栄養学科管理栄養学専攻を卒業したOGの活躍をお知らせします!!

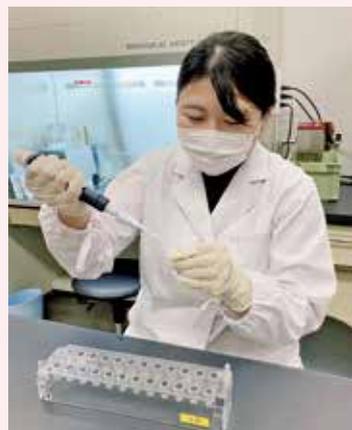
■ 杉本 夏菜 (27期生)

私は管理栄養学専攻を卒業後、本学大学院の医療科学研究科修士課程に進学し二年間の修士課程を経て、現在は本学の医療科学研究科博士後期課程に進学し日々研究に励んでいます。

大学院では、食中毒で最も重要な病原体であるアニサキスを対象として研究を行っています。私は、アニサキスにウイルスが存在するということが世界で初めて見つけて、母校と私の



名前を併せて Suzukana rabdo-like virusとしてデータベースへ登録しました。現在はそのウイルスの遺伝子情報や構造、アニサキスの病原性への影響などを解析しています。この研究を行う中で、私は今まで誰も知らなかったことを明らかにしていくことがとても面白く、やりがいを感じています。しかし、日々の研究活動では、失敗や困難が多く試行錯誤の連続です。それでも、試行錯誤を繰り返し、失敗や困難を乗り越えることで問題解決能力が身に付き、自己成長すること



ができました。また本学大学院では、様々な職種の大学院生が同じ研究科に所属しています。そのため、他分野の研究に触れる機会が増え、知識を広げることができました。また新しい視点からのアプローチやアイデアは、私が研究を行う中での新しいインスピレーションとなりました。これからも研究に一生懸命取り組み、自身の目標に向かって日々努めてまいります。

大学院 (医療科学研究科 医療栄養分野) では大学院生を募集しています!!

大学院ではより高度な知識やスキルを身に付けることができます。本学大学院では、勤務しながらでも学びやすいように、柔軟な授業の組み合わせが提供されているため、仕事と学業を両立させながら専門知識を深めることができます。皆さんも自己成長とキャリアの向上を目指すために、ぜひ大学院への道を選んでみてはいかがでしょうか。一緒に医療科学研究科 医療栄養分野で研究ができることを心待ちにしております。

放射線技術科学科同窓会

からのお知らせ

卒業生だより

三重大学医学部附属病院
診療放射線技師長

山田 剛さん（1期生）

1期生の皆様、お元気でしよ
か？卒業したのがつい先日のように
感じますが、二十八年目に突入して
しまいました。

私は卒業後より三重大学医学部附
属病院でお世話になり、臨床はもち
ろん、臨床以外でも技師会や各種研
究会、認定機構での活動等を通じて
多くの方々と交流させていただき、



充実した日々を過ごしています。こ
れら経験の多くは大学での皆様との
学びがあったからと強く感じていま
す。現在、管理職となり改めて感じ
るのは、鈴鹿医療の卒業生は非常に
優秀であるということ。その証
拠に当院では診療放射線技師の半数
近くが鈴鹿医療卒業生という構成で
す。大学病院として最先端の医療を
提供すべく、今月には最先端のCT
装置も導入することができました。
この装置の導入から立ち上げ、そし
て日々の運用を行なってくれる方も
鈴鹿医療の卒業生です。これからも
鈴鹿医療の卒業生として医療に貢献
できる様に努めていきます。

社会医療法人明陽会 成田記念病院
放射線部 診療放射線技師統括部長

山本 和也さん（1期生）

「田舎」

皆さん、こんにちは。成田記念病
院の山本和也と申します。在学中
は、勉強が苦手だった私が病院に診
療放射線技師として入職して二十八
年目を迎えました。三十五歳の時に
技師長を拝命し、病院移転や陽子線
治療センター開院で貴重な経験をさ
せていただきました。入職時には十
名だったスタッフも現在は三十二名
になり、信頼できるスタッフと共に



成長できる環境だと実感しておりま
す。私は、人が好きで、「出会い」を
大切にしております。出会う人のご
縁で、人生は大きく変わり、新しい
道が開けると思っております。

管理職になってからも、多くの挫
折を経験してきました。自分一人で
出来ることには限界があり、仲間の
協力なしでは成し遂げられないこと
も沢山あったと痛感しております。

卒業生の皆さんも「人生は一度き
り、時にはゆっくり休むことも必要
ですが、やりたいことがあれば失敗
を恐れず思いきってチャレンジして、
人生を楽しんでお過ごしください。



和歌山県立医科大学附属病院
中央放射線部

栗山 翔太さん (13期生)

和歌山県立医科大学附属病院 中央放射線部の栗山翔太と申します。鈴鹿医療科学大学を二〇〇七年に卒業し、同年四月より入職し、はや十七年目となりました。アンギオやCT、一般撮影、放射線治療と多くのモダリティを担当し勤務しています。現在、私含め鈴鹿医療科学大学の卒業生五名が診療放射線技師として勤務しており、毎年十一月頃になると碧鈴祭の話題になり母校が懐かしく感じます。結婚を経て二人の子



供に恵まれ、長男が誕生した際には、まだまだ認知度が低い男性の育児休業を六ヶ月間という短い期間ではありますが経験しました。母親たちの忍耐力の強さには頭が上がりないほどの苦勞を痛感いたしました。

その傍らで、二〇一九年より和歌山県放射線技師会の理事を務めることとなり、多くの同士と出会い、施設間の悩みやすばらしい一面を知ることができ、改めて職能団体の大切さを知ることができました。二〇二三年度より和歌山県放射線技師会の副会長に任命され、様々な会議等を通じて、診療放射線技師の現状について考えさせられる日々を送っています。

二〇二四年四月から始まる「医師の働き方改革」により、診療放射線技師のみならずコメディカルを取り巻く状況はさらに変わっていくと考えます。放射線照射ができる唯一の独占業務である診療放射線技師の一員として、常に安全で安心できる質の高い医療を提供でき、信頼される職業を目指していきたいと考えています。

今年も本学を会場として
「診療放射線技師法改正
による告示研修」が実施
されています！

診療放射線技師法改正による厚生労働省告示第二七三号研修（告示研

修）が引き続き各地で実施されています。今年も三重県の告示研修は本学を会場として実施されています。毎回多くの卒業生の皆さんが、母校会場での研修に参加いただいています。実技研修は放射線技術科学科の実習室を使用しており、会場に入ると懐かしさを感じられる方が多くおられます。告示研修は診療放射線技



師としての義務研修のため、卒業生の皆さんのほとんどが受講される機会があるかと思えます。今年度は後二回、開催される予定です。良ければ母校で研修を受けてみませんか？（写真は本学で受講された卒業生の皆さんです）

放射線技術科学科 SNS 紹介

放射線技術科学科では本年度5月にInstagramが開設され、現在学科SNSはFacebookとInstagramを運用しております。SNSでは、学内行事やボランティア活動、その他身近にあったことなどを掲載しています。現学生の頑張っている姿や卒業生の方たちの姿もたくさん掲載しています。放射線技術科学科は現学生のみだけではなく卒業生の皆様ともずっと繋がりが続いていきたいと考えており、一人でも多くの方々にSNS



[Instagram]



[Facebook]

の登録をさせていただいて閲覧していただければうれしく考えています。今後もたくさん掲載しますので学科SNSもよろしくお願いします。

放射線技術科学科 准教授
中舎 幸司 (11期生)



臨床実習に向けたOSCE (客観的臨床能力試験) を実施

保健衛生学部

リハビリテーション学科

助教 野口 佑太

八月五日(金)にリハビリテーション学科作業療法学専攻において、三年次臨床実習に向けたOSCE(客観的臨床能力試験)を実施しました。OSCEは、一九七五年に英国のR Hardenらにより提唱され、医師および医学生者の臨床能力(臨床実技)を客観的に評価するために開発された評価方法です。わが国では一九九二年に初めて導入され、医師や看護師をはじめ作業療法士等の医療職の教育にも導入されつつあります。OSCEは、採点者および模擬患者が配置された試験室を順次、受験生(学生)が試験を受け回る形式であるものが多く、本専攻においても教員が模擬患者役となり試験を実施しました。試験項目は、「コミュニケーション・態度」、「関節可動域測定」、「筋力測定」、「触覚検査」、「Pr-Stage検査」の五項目としました。

試験日を迎え



るにあたって、学生は自主的に練習を実施したり、教員に質問したりと熱心に取り組む様子がみられました。当日は、良い緊張感の中で、これまでに学んだ知識と技術を遺憾無く発揮し、OSCEを通して臨床実習を行うために必要なことを再認識したことと思います。学生ひとりひとりが学内で学んだことを臨床実習で活かし、多くの学びを得てくれることを期待しています。

四年生の「卒業課題」発表会に三年生も参加して

看護学部看護学科

学科長 教授 江口 秀子

四年生が四月から取り組んできた「卒業課題」の発表会を十二月二十日(火)に開催しました。「卒業課題」は、三年次での「看護専門ゼミナールⅡ」における学習成果をもとに、これまでの学習の中で感じた疑問や臨床実習での体験を振り返り、看護における自らの研究課題を設定し、論理的にまとめ、表現する力を養うことが目的で、看護学生としての四年間の学びの集大成となります。

昨年まではゼミ単位での発表会となり日時もまちまちでしたが、今年も四年生全員が同日に五つの講義室を使用して、学会形式で発表会を実施しました。事例研究や文献研究の成果をパワーポイントを用いて七分間にまとめ発表し、活発な意見交換が行

われました。

その発表会に三年生も参加しました。三年生

は自分の興味・関心のある看護学やテーマを選択して発表会場に行きました。

現在、臨床実習中の三年生は、先輩の発表を聞き、自身の実習

での体験と照らし合わせて質問したり感想を述べていました。そして、「自分たちが思っていた以上に色々なテーマがあることに驚いた」「今まで以上に看護に興味があわいてきた」という声が聞かれました。このような先輩・後輩の交流の機会を今後も続けていきたいと思っています。



医用情報工学科の学位授与式で優秀発表者を表彰

医用工学科 医用情報工学科

学科長 教授 鶴岡 信治

医用情報工学科では卒業研究発表会をオンラインで二月二十日(月)に開催しました。発表会は卒業研究生二十九名全員が一入十分の説明に五分の質疑応答で行いました。研究内容は、最先端の医療福祉システムの研究開発、日常生活に役立つシステム開発、災害のシミュレーション、現場の医療健康に関する調査まで幅広く、全員、卒業研究にふさわしい研究成果を発表しまし

た。卒業研究のタイトルは、本学科のホームページに公開されているので、参照していただくと幸いです。

発表会の質疑応答は、下級生からも素朴な疑問や核心を突くような質問が多数出て、発表者が戸惑う場面もありましたが、活発な意見交換を体験しました。また当日参加できなかった方のために、Zoomでレコーディングし、オンデマンドで視聴できるようにしました。そして、優秀発表者の選定は、参加した全学生と全教員が一位と二位を投票し、投票結果により決めました。

学位授与式では、学位記の授与の後、卒業研究の優秀発表者を表彰し、学科長を始め、各教員からの挨拶が行われました。

新型コロナウイルスの感染防止のために、インターネット技術を活用した授業形態が増えましたが、大学生活最後の挙手により、多くの学生はポジティブにとらえており、教員一同は安心しました。このような体験を活かし、現在進展しているAI・データ時代をリードする人材となることを祈念し、学位授与式を終えました。



卒業研究発表会のプレゼンの例

【救急救命コミュニケーション論】 【救急救命家族支援論】初開講！

保健衛生学部救急救命学科
准教授 久保田 千景

二〇二二年度の救急救命学科の開学科に伴い二〇二三年度二年生に初開講中の「救急救命コミュニケーション論」では、自宅で発症した傷病者を含む家族への対応について、ロールプレイングを行いました。傷病者は高齢で難聴、胸痛の訴えがあり、傷病者も家族もパニックになる状況下で、家族員は救急救命士に対して早く病院に運んで欲しいと訴えるというシナリオでした。学生間で傷病者(患者)役・救急救命士役・家族役を分担し、救急救命士として傷病者への対応、家族の一員(傷病者)の急な発症



を受け止められない家族員への対応、家族員同士で支え合う、もめる姿等、現在同時初開講中の「救急救命家族支援論」での学びも生かしつつ、白熱したロールプレイングとなりました。他にも救急車内・病院の救命救急ICU(集中治療室)におけるロールプレイングの設定もあります。これらの授業科目は、全国の救急救命士養成課程においては本学のみが開講であり、将来救急救命士として、いかなる救急現場でも傷病者を含む家族へのコミュニケーションを通じた支援、そして多職種連携につながる学びとなることを期待しています。Instagramもぜひご覧ください！

【京都府教育相談総合センター】 【こども相談センターパトナ】見学

保健衛生学部医療福祉学科
助教 上條 史絵

上條ゼミでは、三月二十二日(水)、二十二年度の三年生四名、四年生五名、計九名が参加して「こども相談センターパトナ」を見学しました。京都市は国内でも早期に子ども支援の事業に取組んでおり、パトナは平成十五年に「生徒指導」と「教育相談(カウンセリング)」を統合して開設されました。敷地内には不登校経験者のための「洛風中学校」(教育特区)もあり、センター内の適応指導教室、京都市生徒指導課(センター内)も一体となる総合的支援拠点です。事前にパトナの歴史と共に、国内の不登校やいじめ、自殺の状況、支援の実態などを学びました。心理学を学ぶ者として何を考えて、将来に活かすことができ

るかを検討しました。

当日、まずガラス張りの大きな建物に圧倒され、吹き抜けのフロアを階上へ進んでいきました。カウンセリングセンターの蜂須賀カウンセラー、適応指導教室「ふれあいの杜」の高保副館長から、資料を基にご講義いただきました。学生たちは積極的に質問をして子どもたちの様子をお聞きし、実践場でのリアルな状況を教えていただきました。見学では利用者の視線にまで配慮した設計や、相談室十六室、子どもの状態に応じたプレイルーム八室、大小の教室、並ぶ教材に再び圧倒されながらも、興味深く目を凝らしていました。手づくりの教材も多く、子どもの心に寄り添った環境に学生自身が癒された様子もありました。けれども「子どもたちはずっとここに居たいとは思っていない」という進路選択のお話をお聞きし、厳しくても外へ出ていくという、新しい気持ちにもなったようです。先進的環境を肌で学び、職業選択や就労後のビジョンに活用する機会となりました。



【二〇二二年度臨床実習報告会】 【臨床検査学専攻】を開催して

保健衛生学部臨床検査学科
准教授 福岡 恵子

コロナ混乱の回復兆しが見える中、四月二十八日(金)千代崎キャンパスにて医療栄養学科臨床検査学専攻新四年生の臨床実習報告会を行いました。

報告会では、実習受け入れ施設の技師長や実習責任者の方々を三年ぶりにご招待することができ、Zoomによる参加施設からのコメントはもちろん、対面での実習生に向けたコメントや激励の言葉は、学生にとって実習集大成となる発表の場であるとともに心に響く報告会となり、対面開催の重要性を改めて感じる機会になりました。実習報告会では、聴講していた新三年生からも多くの質問が飛び出し、一つ一つ丁寧に質問に対応する新四年生の姿を見ていると、一回り大きく医療人として成長した様子が窺え、実習準備や手配に奔走した教員にとっては気持ちの良い充実感や達成感を得ることができた報告会であったのではないかと思います。

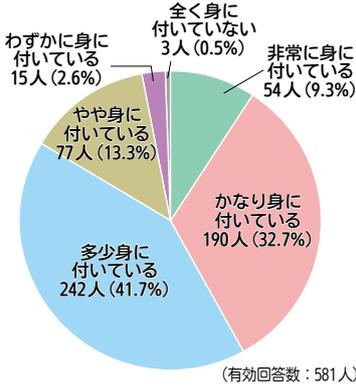
今年度から臨床検査学専攻は臨床検査学科として再出発、同時に医師の働き方改革に伴う法改正により臨床検査技師の業務範囲拡大、新カリキュラムへの移行と新たなフェーズに突入しました。実習期間の延長や実習内容などにも細則が適用され、臨床実習は新たな段階を迎えようとしています。新学科の門出とともに油断する事なく、更なる臨床実習の充実を目指して邁進していきたいと思えます。

2022年度学修成果に係る自己評価調査の集計結果について

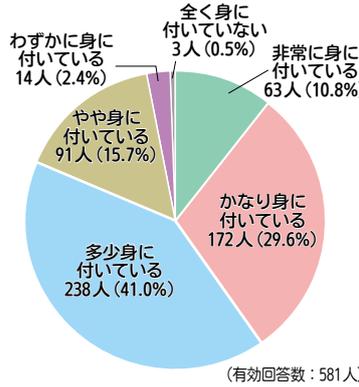
昨年度に引き続き、2023年3月の卒業生対象にアンケートを実施し、下記の5設問にお答えいただきました。本学での全課程を修了し、本学が掲げる5つの教育目標が達成できたかを自己評価していただきました。今回、卒業生608人中581人(95.6%)の方に回答をいただき、ほとんどの方が教育目標を達成されたことを確認させていただきました。

アンケートに御協力いただきました卒業生の皆様に感謝いたしますとともに、本学ではこの5つの教育目標の達成度をさらに高めるために一層の教育改革努力を行ってまいります。

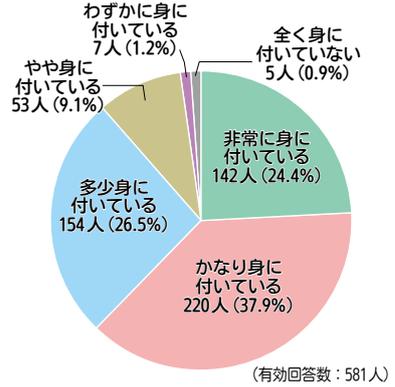
設問1 高度な知識と技能を身につけることができた



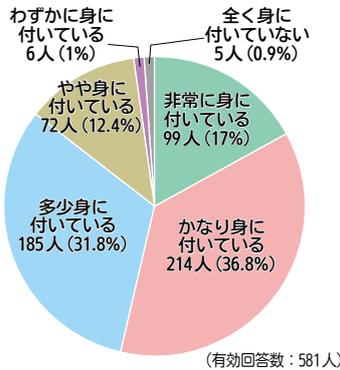
設問2 幅広い教養を身につけることができた



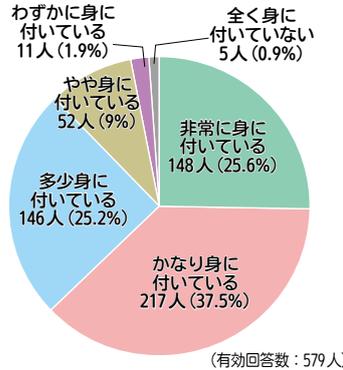
設問3 思いやりの心を育むことができた



設問4 高い倫理観を持つことができた



設問5 チーム医療に貢献する意欲をもつことができた



● 対象者数: 608人
● 回答者数: 581人
● 回答率: 95.6%

二〇二三年度 卒業生就職・進学先一覧

- | | |
|--|---|
| <p>放射線技術科
三井大学医学部附属病院
地方独立行政法人桑名市総合医療センター
松阪市民病院
日本赤十字社 伊勢赤十字病院
三重県厚生農業協同組合連合会
医療法人社団プログレス 四日市消化器病センター
社会医療法人峰和会 鈴鹿回生病院
特定医療法人唯純会 武内病院
医療法人同心会 遠山病院
みえ医療福祉生活協同組合 津生活協病院
医療法人 田中病院 伊勢田中病院
社会医療法人 誠内会 岡渡総合病院
医療法人 田中クリニック 診療クリニック
医療法人 尚豊会 みたき健康クリニック
医療法人 九愛会 中京サウライトクリニック 三重医療法人 大木会 大木歯科
公益財団法人 三重県健康推進事業センター
医療法人 白奉会 中嶋医院
独立行政法人 国立病院機構 東海北陸総合病院
名古屋大学医学部附属病院
名古屋市立大学病院
愛知医科大学病院
学校法人 藤田学園 藤田医科大学病院
学校法人 藤田学園 藤田医科大学 ばなな病院
豊川市民病院
蒲郡市民病院
愛知県厚生農業協同組合連合会 安城厚生病院
独立行政法人 地域医療推進機構 能登推進機構 中京病院
みえ医療生活協同組合 協立総合病院
公益社団法人 日本海員救済会 名古屋海済会
社会医療法人 名古屋屋敷記念財団 名古屋屋敷記念病院
社会医療法人 明徳会 成田記念病院
医療法人 豊田会 刈谷豊田総合病院
医療法人 念心会 豊橋ハーモニクスセンター
医療法人 秋田病院
医療法人 愛生館 小林記念病院
医療法人 幸会 南陽病院
医療法人 蜂友会 はちや整形外科病院
一般財団法人 愛知健康増進財団
医療法人 明裕会 名古屋セントラルクリニック
医療法人 徳洲会 大徳徳洲会病院
社会医療法人 厚生会 中部国際医療センター
国立医療センター
独立行政法人 国立病院機構 静岡国際医療センター</p> | <p>医療法人 社団 主体会 小山田記念温泉水院
独立行政法人 地域医療推進機構 四日市羽津医療センター
医療法人 富田病院
社会医療法人 聖賢会 日下病院
医療法人 社団 仁会 徳川病院
医療法人 思源会 第二岩崎病院
みえ医療福祉生活協同組合 津生活協病院
医療法人 永井病院
医療法人 全心会 伊勢ひかり病院
医療法人 瑞穂会 尾張温泉水かえり病院
医療法人 珪山会 鶴岡リハビリテーション病院
医療法人 香徳会 マイトウホスピタル
医療法人 弘友会 竹内整形 外科・内科クリニック
医療法人 財田利定会 大久野病院
伊南行政組合 昭和伊南総合病院
社会福祉法人 花ノ木 花ノ木医療福祉センター
医療法人 共和会 小倉リハビリテーション病院
村田医療法人 誠内会 岡渡看護専門学校
三重大学医学部附属病院
公益社団法人 地域医療推進協会 三重県立高松病院
市立伊勢総合病院
国民健康保険 志摩市市民病院
伊賀市立上野総合市民病院 三重県厚生農業協同組合連合会
医療法人 尚徳会 ヨナハ丘の上野院
医療法人 社団 主体会 小山田記念温泉水院
医療法人 博仁会 村瀬病院
医療法人 思源会 第二岩崎病院
南勢病院
医療法人 全心会 伊勢ひかり病院
社会医療法人 誠内会 岡渡総合病院
学校法人 藤田学園 藤田医科大学病院
愛知県厚生農業協同組合 伊勢ひかりリハビリテーション病院
社会医療法人 瑞穂会 一宮西病院
社会医療法人 珪山会 輪岡リハビリテーション病院
社会医療法人 蘇生会 松波総合病院
医療法人 社団 主体会 北原リハビリテーション病院
三重県厚生農業協同組合連合会</p> |
|--|---|



強化指定クラブ「女子バスケットボール部」の発足について

令和5年4月より、本学で初めて強化指定クラブとなる「女子バスケットボール部」を発足しました。

これは、本学に強化クラブを設け、勉学とスポーツを両立させる教育によって、心身ともに健全な人材の育成を目的に、医療・福祉の総合大学である本学の特徴を活かした学内連携（医療・栄養・スポーツトレーナー・鍼灸・リハビリ）や、加盟協会・関連諸機関等との学外・地域連携を推進する中で、一貫した技術指導を通してチーム力強化を図り、近い将来、本学女子バスケットボール部が強豪校として活躍し認知されることを目標に、新しくスタートさせました。監督には、高校女子バスケットボール界でご活躍された横山利幸氏を招聘し強化に取り組んでいます。横山氏は、三重県バスケットボール協会役員を長年歴任する傍ら、ご自身が指導するチームをインターハイ11回・ウィンター

カップ15回の出場に導き、インターハイでは全国3位入賞を成し遂げられました。

本学在学生の皆さんはもとより、本学に入学し、女子バスケットボール部での活動とともに、将来広く社会の発展に貢献する医療人を目指す高校生の方々へも、入学や入試・学びに関することや、大学・クラブ見学（説明会）等の機会を設けていきますので、興味・関心のある方は、是非ご参加ください。

なお、女子バスケットボール部の強化指定は東海地区の医療系大学で初、三重県の高等教育機関でも初めての取り組みになります。

どうか多くの方のご参加・応援等よろしくお願い申し上げます。

高大連携協定の締結について

新たに3つの高等学校と高大連携協定を結び、計9校となりました。大学は教員の出張講義や生徒を招いた模擬実習などの連携を強化し、医療・福祉・健康分野への理解を深めてもらう取り組みを進めます。より強固な信頼関係を築き緊密に情報を交換することで、生徒一人一人の夢の実現の支援へとつなげていきます。

- ◆海星中学校・高等学校 ◆セントヨゼフ女子学園高等学校・中学校 ◆皇學館高等学校

中国 石家莊医学高等専門学校の来訪と国際交流協定の締結について

本年7月10日（月）～7月14日（金）にかけて、中国河北省所在の石家莊医学高等専門学校（Shijiazhuang Medical College 以下SMC）より、国際交流の一環として同校国際教育学院院長の魏海青教授を団長とする10名（教職員3名・学生7名）の研修訪問団を歓迎しました。

1887年創立のSMCは、臨床医学部、看護学部、歯学部、薬学部、伝統中国医学部、医療技術部の6つの学部で約2万人の全日制学生が学ぶ3年制の私立医療系高等教育機関です。本学との類似点が多いことや同校出身者が既に本学で教員として活躍中であることもあいまって、SMCは本学を同校卒業生の将来の留学先として希望検討中の経緯からこの度の来訪となったものです。5日間の滞在中のご一行

が、本学高木理事長／豊田学長宛表敬訪問・歓送迎会・諸学科授業参観と実習参加・病院および関連医療施設見学・日本文化体験（茶道・華道・日本食等）・交流協定締結協議と署名式・中国駐名古屋総領事館を交えた三者オンライン挨拶交換会等を含む極めて密度の濃い有意義なスケジュールをこなされたことにより、両校にとってコロナ禍後初となったこの度の対面国際交流が実りあるものとなりました。

とりわけこの度の交流成果の象徴と言えるのが、本学にて署名式の挙行に至った両校間の国際交流協定締結でした。これを機に、今後期待される両校間の友好・交流関係の発展が、お互いの機関における教育・研究の国際性向上に寄与することを願っています。



Table with 10 columns listing various partner hospitals and organizations, including 公立豊岡病院組合, 市立四日市病院, 国立大学法人浜松医科大学, etc.

入学課からの お知らせ

お問い合わせ

大学院について

鈴鹿医療科学大学 大学院課
TEL: 059-340-0334 (直通)

学部入試について

鈴鹿医療科学大学 入学課
TEL: 059-383-9591 (直通)
E-mail: nyushi@suzuka-u.ac.jp



受験生
応援サイト

大学院入試について

医療科学研究科医療科学専攻修士課程・博士後期課程 薬学研究科医療薬学専攻博士課程 (4年制)

本学大学院には毎年15名ほど社会人の方が入学されています。勤務しながら就学できるよう、授業や研究指導の配慮を行っています。2018年4月より、公認心理師・臨床心理士の受験資格に対応した公認心理師・臨床心理士資格取得コース、2020年4月からは、臨床検査技師を対象とした、細胞検査士資格取得コースも開設しました。

本学卒業生は検定料(35,000円)および入学金(200,000円)を免除しています。大学院で学び、皆様方のキャリアアップにつなげていただければと思います。

2024年度大学院入試日程(医療科学研究科・薬学研究科)

期別	出願期間	試験日	合格発表
1期	2023年8月25日(金)～9月1日(金)	2023年9月23日(土) 【今年度は終了しました】	2023年10月10日(火)
2期	2024年2月2日(金)～2月9日(金)	2024年3月2日(土)	2024年3月15日(金)

※医療科学研究科は社会人特別選抜入試があります。

※薬学研究科の社会人特別選抜入試はありません。薬剤師資格を取得している事が出願条件となります。

※詳細につきましては、本学ホームページ及び大学院学生募集要項をご覧ください。

学部入試について

おかげさまで本学は創立31年を迎えました。これまでに10,000名を超える卒業生が全国各地の医療機関・福祉施設等で活躍し、OB・OGによって結ばれたネットワークは後輩の就職活動の大きな味方になってくれています。近年は、同窓生のご子弟が本学に入学される機会も増えてきました。医療・福祉分野への進学を希望するご家族、お知り合いの方がいらっしゃいましたら、医療現場で活躍する先輩として、鈴鹿医療科学大学をよく知る先輩として、ぜひとも本学をご推薦ください。

学部入試の詳細は本学ホームページ受験生応援サイトでご確認ください。大学案内・入試ガイド等資料のご請求も受付けています(無料)。

- 三重県厚生農業協同組合連合会
- 医療法人如心会 遠山病院
- 医療法人康成会 ほうりくクリニック
- 名古屋市立立大学病院
- 愛知県厚生農業協同組合連合会 安成厚生病院
- 愛知県厚生農業協同組合連合会 豊田厚生病院
- 社会医療法人財団新和会 八千代病院
- 社会医療法人名古屋記念財団 新生会(一病院)
- 医療法人借行会 名古屋共同立病院
- 西病院
- 社会医療法人宏潤会 大同病院
- 社会医療法人大森会
- 医療法人借行会 刈谷豊田総合病院
- 医療法人徳洲会 大垣徳洲会病院
- 大垣市民病院
- 社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院
- 地方独立行政法人静岡県立病院機構
- 公立病院機構
- 名古屋市立総合病院
- 公益財団法人浜松市医療公社 浜松医療センター
- 静岡県厚生農業協同組合連合会 遠州病院
- 社会医療法人駿甲会 コミュニティホスピタル 甲斐病院
- 日本赤十字社 諏訪赤十字病院
- 京都大学医学部附属病院
- 医療法人仁会 武田総合病院
- 河村病院
- 洛和会ハルスケアシステム 医療法人新生会 総合病院
- 興隆会伊豆今井病院
- 高の原中央病院
- フクダ電子中央販売株式会社
- 株式会社 八神製作所
- (医療情報学)**
- 三重県厚生農業協同組合連合会
- 社会医療法人財団新和会 八千代病院
- 医療法人徳洲会 野崎徳洲会病院
- OKIソフトテック株式会社
- UTテクノロジ株式会社
- 株式会社リノラスト
- 総合企画保障株式会社
- 株式会社 アイテック
- 株式会社 サイバーテック
- 株式会社 ツリヘル
- 東海ソフト株式会社
- 日本電子計算株式会社
- 株式会社 テクノアスカ
- 株式会社 中野コム
- 三重電機株式会社
- 株式会社 アイ・シー・エス
- 株式会社 松阪電子計算機センター
- 三重全業工業株式会社
- 三重交通株式会社
- 百五コンピュータソフト株式会社
- 株式会社 三重県農協情報センター
- 株式会社 アイ・シー・エス(進学)
- 株式会社 ナルックス(進学)
- Edison Medicine
- (薬学)**
- 三重大学医学部附属病院
- 学校法人藤田学園 藤田医科大学七栗記念病院
- 地方独立行政法人三重県立総合医療センター
- 三重大学医学部附属病院
- 三重県厚生農業協同組合連合会
- 医療法人社団主体会
- 医療法人尚徳会 みんぎ総合病院
- 学校法人藤田学園 藤田医科大学ばんだい病院
- 豊川市民病院
- 社会医療法人名古屋記念財団名古屋記念病院
- 社会医療法人宏潤会 大同病院
- 社会医療法人大森会
- 社会医療法人明陽会 成田記念病院
- 医療法人共栄会 みどりの鳳南知多病院
- 医療法人徳洲会 大垣徳洲会病院
- 医療法人社団カワムラスオムディカルソサエティ
- 河村病院
- 公益社団法人地域医療振興協会 伊豆今井病院
- 医療法人弘通会 すずかけセントラル病院
- 医療法人社団明徳会 十全記念病院
- 兵庫県立はりま姫路総合医療センター
- 株式会社 メディカルシステム ネットワーク(安の花薬) ウェルシア高松株式会社
- クラフト株式会社
- ファーマーズホールディングス株式会社
- 株式会社 稲産 稲産(善悪)
- 株式会社 南山
- 株式会社 アイ・シー・エス デイ
- 株式会社 コカラファレン
- 株式会社 コカラファレン
- 株式会社 森林製薬局
- 株式会社 スリのアオキ
- 株式会社 3ボス薬局
- 株式会社 ボス薬局(アル調剤薬局)
- 株式会社 トーカイ薬局
- 株式会社 ドリム・メディカル
- 株式会社 スギヤマ薬品
- ウエルシアフクイマシー
- 株式会社 ユタカファーマシー
- 株式会社 ユタカファーマシー
- 中部薬品株式会社
- たんば薬局株式会社
- 株式会社 メディカルリンク
- 一般社団法人松阪地区薬剤師会(常設)薬局
- 一般社団法人 アルマツトみえ
- 株式会社 フラルマツトみえ
- 株式会社 メディカル・光グループ
- 株式会社 はね鶴製薬局
- 株式会社 ハートフジヨウ 有限会社 フラム(ニゼル薬局)
- 鈴鹿医療科学大学大学院
- (看護学)**
- 独立行政法人国立病院機構 三重中央医療センター
- 三重大学医学部附属病院
- 地方独立行政法人三重県立総合医療センター
- 三重大学立身発達医療センター
- 地方独立行政法人 桑名市総合医療センター
- 松阪市民病院
- 市立伊勢総合病院
- 日本赤十字社 伊勢赤十字病院
- 社会福祉法人恩賜財団済生会支部 三重済生会 済生会松阪総合病院
- 三重県厚生農業協同組合連合会
- 社会医療法人峰和 鈴鹿回生病院
- 医療法人博仁会 村瀬病院
- 医療法人同心会 遠山病院
- 名古屋市立立大学病院
- 愛知県立がんセンター 豊橋市民病院
- 小牧市民病院
- 半田市立市民病院
- 愛知県厚生農業協同組合連合会 海南病院
- 愛知県厚生農業協同組合連合会 豊田厚生病院
- トヨタ自動車株式会社 トヨタ記念病院
- 社会医療法人名古屋記念財団 名古屋記念病院
- 地方独立行政法人静岡県立病院機構 静岡県立こども病院
- 社会医療法人財団石心会 日本赤十字社 和歌山医療センター
- 三重県職員
- 三重県警察
- 茨野町職員
- 大和郡山市職員

鈴鹿医療科学大学同窓会 表彰制度のご紹介

同窓会では、平成三十年度より本学の発展充実に寄与するため、卒業生涯教育事業の一環として本学卒業生の皆様の各種活動や業績に対し表彰する制度を設けています。

一つは、「親子二代にわたる入学者に対して感謝状を贈呈する制度」です。この制度は、同窓会が親子二代（直系の親・子の2世代）にわたる入学者に対して感謝状を贈り、感謝の意を表するものです。

そしてもう一つは、「功労表彰制度」です。これは卒業生が大学の一員である意識と一体感を醸成し、卒業生一人ひとりの励みとなるよう、社会に貢献し、顕著な業績をあげ、大学の発展に寄与された方を表彰するものです。

このような制度を通して、同窓会からの情報発信を積極的に行なっていくとともに、同窓生や在学生との連携を強化しながら、大学の発展や卒業生同士のネットワークづくりに努めて参ります。

ぜひお知り合いに該当する方がおられましたら、自薦他薦いずれもかまいませんので、お申し込みください。

表彰1 親子二代にわたる入学者に対する

対象

親子二代（直系の親・子）が、現在の学校法人鈴鹿医療科学大学又はその前身である学校法人鈴鹿医療科学技術大学に入学された方

ただし、申請時において子が本学の在籍者であること

申請方法

申請には以下の事項を同窓会事務局まで、メールまたは郵送にてご連絡ください。

- ① 親（卒業生）の学生番号（または学科と入学年度）と氏名
 - ② 子（在学生）の学生番号と氏名
 - ③ 親の連絡先である住所、電話番号、メールアドレス
- 郵送の場合：
〒51-0102 九三
鈴鹿市岸岡町一〇〇一
鈴鹿医療科学大学内
鈴鹿医療科学大学
同窓会事務局 武藤

メールの場合：mail@sums-a.com

表彰

表彰状の授与および記念品贈呈

付記

- ① 申請は随時受け付けておりますが、毎年十月末日で区切りますので、十一月以降にご提出いただいた方は翌年の十一月に贈呈式を行います。
- ② 贈呈式には、原則二代揃ってご出席いただき、その場で贈呈させていただきます。贈呈式参加にかかる交通費は、親一名分を原則支給致します（ただし上限十万円まで）。
- ③ 申請時において親・子 共にご健在である方を対象とさせていただきます。ただし、同一申請人による申請は一回限りとします。
- ④ 被贈呈者の決定は、申請に基づき常任理事会が行います。

表彰2 鈴鹿医療科学大学同窓会功労賞 (毎年若干名以内)

対象

- ① 現在の学校法人鈴鹿医療科学大学又はその前身である学校法人鈴鹿医療科学技術大学のいずれかを卒業された方
- ② 社会に貢献し、又は顕著な業績をあげ、大学の発展、名誉及び信用の向上に寄与したと認められる方

【例・企業や病院の部・科長クラス以上、個人経営者、都道府県職能団体三役以上、都道府県レベルの学会・職能団体三役以上、または同役員経験十年以上、その他上記に準じる功績があり表彰に値すると認められる卒業生】

- ③ 同窓会正会員会費を納入されている方
- ①、②、③のいずれも満たす方が対象となります。ただし、本学の常勤教職員は除きます。

申請方法

自薦の場合、①履歴書②推薦理由（候補者の功績など表彰対象事項四〇〇字以上）を作成し本学同窓会事務局までメール

同窓会事務局より

一定人数以上の同窓会開催を 同窓会が支援します！

鈴鹿医療科学大学同窓会では、同窓生や学科のつながりを活性化することを目的として平成三十年度より、クラス会やゼミ会、サークルOBORG会など、十人以上集まるクラス会等を開催された場合に対する助成を行っています。

それに加えて、卒業生の研究活動やキャリア支援のため、卒業後七年以内の方の学会発表や大学院進学に対する助成制度が設

ルまたは郵送にてご連絡ください。

他薦の場合、本学同窓会会長・同窓会各支部長を推薦者とします。卒業生のうちから本賞を受賞するに相応しいと認められたものを②推薦理由を添付し、八月末日までに同窓会常任理事会に推薦してください。

表彰

表彰状の授与および記念品・賞金

付記

- ① 被贈呈者の決定は、申請に基づき常任理事会が行います。
- ② 表彰式と表彰者による講演会を開催します。表彰式参加にかかる交通費は、原則支給致します（ただし上限十万円まで）。
- ③ 講演時間は、一人二十分～三十分程度を予定し、後輩（在学生）に語りかけるようなエピソードを含めた話をお願いいたします。
- ④ 表彰式と表彰者による講演会は、毎年十一月月上旬および二月下旬に行う予定です。

けられています。

助成を希望される団体は、以下をお読みいただき、お申し込みください。

活動1 クラス会等開催に対する助成 申請条件

- 次の卒業生の集まり。
- ① 学年、学部、専修・専攻・学科が同じ卒業生の集まり（クラス会など）

- ② 出身地または現住所の地区が同じ卒業生の集まり（地区会など）
- ③ 複数の卒業時期で同じゼミの卒業生の集まり（ゼミ会など）
- ④ 在学時に同じサークル・同好会の卒業生の集まり（サークルOB・OG会）
- ⑤ 現在の業種が同じまたは勤務地が同じ卒業生の集まり
- ・ 一団体につき年一回
 - ・ 十名以上の参加があること
- （ただし、同窓会支部活動補助との重複申請はできません）
- 申請者**
本会正会員（会費が完納されていること）

申請方法

申請には代表者が以下のものを揃えて同窓会事務局に提出してください。

送付先 e-mail: nai@suns-aac.com

- ① 助成金申請用紙（別紙1 同窓会HPからダウンロードできます。）
- ② 同窓会の案内状（メール画面、ハガキのコピーなど）
- ③ 同窓会報告用紙（別紙2 同窓会HPからダウンロードできます。）
- ④ 同窓会の出席者名簿（学生番号・氏名・住所*1）
- ⑤ 出席者の集合写真（人数が確認できるもの）
- *1 会報郵送用連絡先として登録されます。
- 助成額**
出席者一名につき一、〇〇〇円。上限は二万円。人数は報告書に添付していただく集合写真で確認するため、必ず出席者全員がそろっている写真を提出してください（写真は会報に掲載されます。なお

写真は返却できません）。

付記

助成金の申請限度は一年度内に一回とします。

申請は同窓会が行われてから六ヶ月以内に申請してください。期限を過ぎた場合、申請しても受付できません。

同窓会助成は先着順とし、年額予算内

同窓会事務局より

卒業生のキャリア支援を、同窓会が支援します！

鈴鹿医療科学大学同窓会では、卒業生の研究活動やキャリア支援のため、卒業後七年以内の方の学会発表や大学院進学に対する助成制度が設けられています。

助成を希望される方は、以下をお読みいただき、お申し込みください。

活動1 卒業生の学会参加への助成申請条件

鈴鹿医療科学大学卒業生のうち卒業後七年以内で、全国学会もしくは国際学会レベルでの学会発表を行った場合（ただし、過去に本助成を受けたり、卒業生の大学院進学への助成を受けた方は申請できません）

申請者

本会正会員（会費が完納されていること）

申請方法

申請には代表者が以下のものを揃えて同窓会事務局に提出してください。

送付先 e-mail: nai@suns-aac.com

① 助成金申請用紙（別紙3 同窓会HPからダウンロードできます。）

で助成を行うため、申請合計金額が年額予算の上限に達した場合、当該年度の助成を打ち切ります。

次の場合、申請があっても助成を取り消す場合があります。

- ① 申請書類に不備がある場合
- ② 不正な申請があった場合

同窓会が支援します！

助成額

国内全国学会・国際学会発表の場合 一万円/件

付記

申請受付は随時行いますが、年二回（七月末、三月末）締め切ります。

被助成者の決定は、申請に基づき常任理事会が行います。

年額予算内で助成を行うため、申請合計金額が年額予算の上限に達した場合、当該年度の助成を打ち切ります。

助成金は、毎年十一月上旬に開催されるホームカミングパーティー内で開催される授与式において、鈴鹿医療科学大学千代崎キャンパスにてお渡しします。

次の場合、申請があっても助成を取り消す場合があります。

- ① 申請書類に不備がある場合
- ② 不正な申請があった場合

活動2 卒業生の大学院進学への助成申請条件

鈴鹿医療科学大学卒業生のうち卒業後七年以内で大学院に進学し、優れた勉学成果を期待できる場合（ただし、過去に本助成を受けたり、卒業生の学会発表への助成を受けた方は申請できません）

申請者

本会正会員（会費が完納されていること）

申請方法

二年生以上の大学院生

申請には代表者が以下のものを揃えて同窓会事務局に提出してください。

送付先 e-mail: nai@suns-aac.com

- ① 助成金申請用紙（別紙3 同窓会HPからダウンロードできます。）
- ② 活動状況がわかる本人が写っている写真一枚

助成額

二万円/件

付記

申請受付は毎年五月一日～五月末日までとします。

被助成者の決定は、申請に基づき常任理事会が行います。

募集人数は原則五名以内とします。

助成金は、毎年十一月上旬に開催されるホームカミングパーティー内で開催される授与式において、鈴鹿医療科学大学千代崎キャンパスにてお渡しします。

次の場合、申請があっても助成を取り消す場合があります。

- ① 申請書類に不備がある場合
- ② 不正な申請があった場合

同窓会事務局からのお知らせ

同窓会会報の原稿を募集します

本会報は母校卒業後も学校・同窓生を結び、会員皆様に親しまれる会報誌として編集・発行されて参りました。今後も内容を充実させ同窓皆様の交流を支援する会報誌を目指して参りますので、広くご寄稿をお願い申し上げます。

ご寄稿を頂きました方にはささやかですがお礼をさせていただきます。

1. ご寄稿記事内容

- ①母校、同窓会、同期会に関わる思い出
- ②同窓生のお店（開業されているかたのお店紹介や、勤務先施設の紹介についてなど）
- ③学会、研究会、クラス会案内
- ④その他同窓会から募集するテーマ

2. 原稿

①のみ300～600字程度。②③④は300字程度。寄稿者本人写真及び関連写真やイラストをご提供願います。

3. 送付先と締め切り

同窓会事務局までメールまたは郵送してください。次号のご寄稿締め切りは、2024年7月末日になります。（発行は毎年10月1日予定）

支部同窓会を結成しませんか？

本会では、理事会の議を経て、学科別および地域別に支部を結成することができます。2023年8月現在、5支部（放射線技術科学科、医療栄養学科（管理栄養学専攻）、医療福祉学科（医療福祉学専攻）、鍼灸サイエンス学科、薬学科）が結成されています。本会支部として活動される場合、支部で開催される卒業生交流支援活動に対して、規定により補助が行われます。支部活動報告は、同窓会会報他で行っていただきます。まだ学科支部が結成されていない学科の卒業生皆様、卒業生の交流や後輩在学生への支援活動として支部同窓会を結成しませんか？支部結成を希望される場合は、同窓会事務局までメール mail@sums-aa.com でお知らせください。

転居時にご連絡を

住所が正しく登録されていない方には、同窓会会報や各種ご案内がお届けできません。

住所等を変更される場合や改姓改名された方は、同窓会ホームページ（<http://www.sums-aa.com/index.html>）から変更登録ができます。また、QRコードからも登録情報変更ページにアクセスできます。



同窓会名簿の頒布について

2005年4月から個人情報保護法が完全施行されたことに伴い、本会では同窓会名簿を頒布しないこととさせていただいております。

各種同窓会の開催連絡は、同窓会会報やHPをご利用いただけます。その他ご友人に連絡を取りたい場合につきましては、ご本人からの許可がない限り、直接、情報を開示することはできませんが、同窓会事務局から先方にその旨をお伝えいたします。

悪徳業者にご注意を

鈴鹿医療科学大学同窓会事務局からの「住所調査や名簿発行」と名乗り、電話で住所や勤務先などの個人情報を調べる業者がいます。本会では電話での住所調査等は行っておりません。ご注意ください。



編集後記

新型コロナウイルス感染拡大による日常生活の制約から元に戻りつつありますが、未だ医療に従事されている多くの卒業生の皆様には引き続き様々な立場から日本の医療を支えて頂いていることを日々感じ敬意を表します。母校では10学科14専攻の医療従事者を目指す学生たちも、コロナ禍を乗り越え日々学びを進めています。同窓会としては個々の卒業学科だけでなく、様々な職種を目指し学ぶ全学の後輩たちへのサポート活動を様々な角度から進めていきたいと思っております。今後もお支援のほどよろしく申し上げます。